



モリタ宮田工業株式会社 栗原工場
及川 美紗さん



株式会社プラモール精工
本田 衛さん



株式会社中央製作所
夏目 真帆さん



東北アシダ音響株式会社
伊藤 雄太さん

宮城県内のものづくり企業では、どのような製品が作られ、どんな仕事をしている人がいるのか。現場で働く4人のエースの姿と生

の声から、宮城のものづくりの「いま」を紹介します。

ものづくり産業広報誌
オガレ!
ACE
Vol.20

01 ようこそ宮城へ!
日本積層造形株式会社

02 特集・仕事図鑑
ものづくりにかける

[CASE.1]
生産技術
及川 美紗さん
モリタ宮田工業株式会社 栗原工場

[CASE.2]
設計開発
本田 衛さん
株式会社プラモール精工

[CASE.3]
製造
夏目 真帆さん
株式会社中央製作所

[CASE.4]
生産管理
伊藤 雄太さん
東北アシダ音響株式会社

15 特別企画「ACEに聞く」
株式会社東京ダイヤモンド
工具製作所
宮城県白石工業高等学校

17 みやぎものづくり女子
プラスエンジニアリング株式会社
仙台事業所
鈴木 沙紀さん

19 あすを拓く
泰光住建株式会社
赤間 晃治さん

21 技の肖像
塗師
菅野 裕喜さん

22 NEWS BOX



むすひ丸

ようこそ
宮城へ!



日本積層造形株式会社 (多賀城市)

日本積層造形株式会社は、大手総合商社の双日株式会社(東京都)と、日本の積層造形分野の草分け的存在である株式会社コイワイ(神奈川県)が出資し、2017年10月に設立した会社です。社名でもある積層造形というのは、いわゆる3Dプリンタを用いたものづくりで、当社では金属材料を用いて行っています。デジタル技術を駆使して金属製品のスライステータを作成し、一層毎に積層して立体物を造形する技術で、3次元モデルのデジタルデータがあればどのようなデザイン形状の部品でも製造することができます。具体的には、二層分(約30~100マイクロメートル)の金属粉末を敷き詰め、スライステータを元に熱源となる電子ビームやレーザーを照射。金属粉末の溶融・凝固を繰り返し行う事で造形物を完成させます。航空・宇宙分野のエンジン周辺部品や、医療分野のインプラントなど高い精度が求められる市場で需要が急拡大しています。積層造形の強みは、①複数の中間部品や工程に

分かれていた金属製品の製造工程を簡素化できる。②従来工法では不可能だった複雑な形状の製品製造ができるため、自由な製品デザインができる。③将来的には、材料とプリンタがあればどこでも金属製品が製造できるため、中間在庫の削減や、地産地消による輸送の削減も期待できることです。しかしながら、日本は積層造形分野において欧米や中国に比べて出遅れているというのが現状です。金属積層の技術を定着・普及させるためには、プリンタ装置、粉末材料、造形技術を総合的に理解し、製造現場で活用していくことが重要だと考え、宮城県や東北大学の協力を得て、この東北・宮城の地に新会社を立ち上げました。ものづくり革命といわれる金属積層造形による製造が世界中で注目され、新たな製品開発が行われている中で、ものづくり大国・日本を支えるメーカー各社が引き続き世界中で活躍できるように、わが社の技術とノウハウでお役に立ちたいという想いで事業化に取り組んでいます。



所在地/多賀城市八幡一本柳3-8
<https://www.jampt.jp/>
代表取締役社長/保田 憲孝
資本金/4億8,232万円
従業員数/16人(2019年1月現在)
事業内容/AM用金属粉末製造販売、金属AM受託造形サービス、金属AMによる実用品・量産品開発

